

【22_224技術系メルマガ】実践チャートで『目線』を決める練習をしてみよう

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

このメルマガを始め、僕はトレードに関しては首尾一貫

『目線』を決め、『型として定めたセットアップ』が揃ったところでトレードをする

ことを徹底するよというを言い続けています。

とはいえ、実際「自分で目線を決めろ」と言われて、それを自信もっていきなりできる人は少ないですし

やってみると、「本当にこれでいいのか？」と不安になることも多いかもしれません。

それは単に、自分の決定に対する「値動きの結果としての“こたえ”」を相場に求めてしまいたくなる心理からくるものなのですが

そこからすぐに脱却して、自分の決定に自信を持つというのはとても難しい事です。

こればかりは、本当に繰り返し自分の中で見立てを作り、フォワードテストをして、振り返りをする

このサイクルの中で目を鍛えていくしかないのですが

少しでもその領域に近づいてほしいと思って、今回は実践のチャートを使い

僕と一緒に『目線』を決める練習をやってみましょう。

┌
└─┬─┐
■ 目線に迷ったら、まず『空間』を探してみよう

分析の手順としては、まず『収縮』のセットアップを探してみようという話を

別配信している『デイトレ講座』ではお伝えしていますが

セットアップはあくまでも、「動き出しの予兆」を見ているだけなので、実際どちらの方向にトレードするかは

『上位足の環境』を見ることによって決める必要があります。

以前のメルマガでも少し言及した(【200】通目参照)、H1足のグランビルなどもその一部ですね。

最初慣れないうちは、『MA収縮』を見つけることまではなんとかなるものの

そこから「どっちに向かってトレードすれば良いのか」で迷う人が多いと思います。

そこで、迷ったらまずは『D～H4足』くらいの規模でいいので

『あいている空間』をMA・水平線の位置関係から探してみてください。

一例として、8/9にキャプチャしたGBPJPYのチャートをお見せしますね。

▼画像: GBPJPYチャート(8/9現在) ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/chart/2022-08-09.png

このチャートでの日足～H4足の環境は、まず現在値付近に邪魔になりそうな水平線はありません。

そこで、MAとプライスとの位置関係から、あいている空間を探してみます。

日足: 直上に100SMA(紫)があり、ロングはやりづらそう。逆に下は広く空いている

H4足: 100SMAと20,40-50SMAに挟まれている空間(緑の四角枠内)

⇒トレードするなら、枠内でショート方向?

こんな感じで、空いている空間を見るのと同時に、現在値が『天井 or 床 どちらに近いのか』でトレードの大まかな方向性を決めておきます。

僕の場合、この時点で選択肢はショートしかないな、と決めてしまいます。

(実際下落してくれるかどうかは関係ない)

続いて、H1足を見てみます。

H4足の中で把握した緑色の空間の中で、依然ロング方向に波形を描いている状況ですが

先程説明したように、ロング方向には上位足の邪魔者が多いので

うかつにエントリーすると危険な場面です。

そこで、しばし様子を見て『下位時間足もショートを仕掛けたくなる形』になるまで待ちます。

ショートを仕掛けたくなる条件として、僕がいつも意識するのは

- ・収縮したMAがどっちの方向に抜けるのか？
- ・併せて、トレンドの変化を伴っているか？(今回の場合M15足のアップトレンド崩壊が綺麗)
- ・更に下位足(M5足以下)でチャートパターンに分解して、エントリーポイントを探れるか？

この辺は絶えずチェックします。

目線を決めたら、いつも『目線とセットアップが揃うのを待つ』と言っているのは

上記のような『エントリー判断に至るまでの判断材料』が揃うのを待つ というのが

僕のトレードにおけるルーティン(決まった作業)です。

条件さえそろったら、リスクリワードのバランスに問題が無いかを確かめて

エントリーの可否を判断するのみ。後は自分の決めた結果を受け入れる。

この作業の繰り返しです。

今回出した事例で、実際エントリーするのに良いと思った場面は、NY時間も遅い頃だったこともあり

僕のルーティンから外れる時間なのでエントリーはしませんでした。

が、この形がロンドン初動で出てくるのを待つために

僕は常々『MA収縮のセットアップ』を探しつつ、上位足での『目線決めのための空間把握』をやっているわけです。

文章化すると、非常にややこしいことをやっているように見えるかもしれませんが

講座やサロン内のスカイプ等で説明を聞いたことがある人は、以外と単純な作業をやっているだけなのだ

分かってもらえたと思います。

実際僕がトレードでやっている作業工程は、ここで言語化しているものがほぼすべてです。

なにか隠している秘策があるわけではないので

最終的には、自分で決めたこの『型』を何処まで一貫して信頼し続けられるか。

そして、その継続を通じて如何に精度を磨くかが鍵になってきます。

そこまで来ると、あとは新たな知識のインプットというよりも、ただやりこむだけです。

この方法に沿ったやり方に対する質問であれば

僕の経験則からいくらでもお答えするので、何か質問があればこのメールへの返信で

遠慮なく聞いてくださいね。